

三原市久井歴史民俗資料館 vol.47

モーモー通信



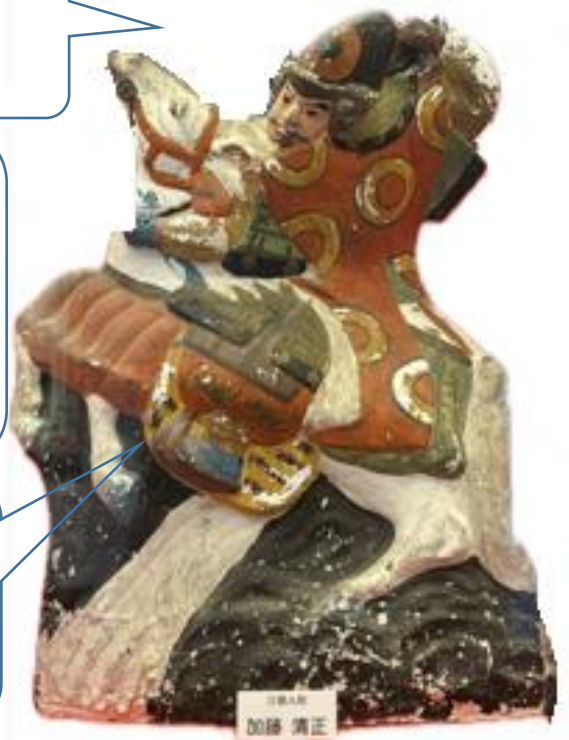
まほろし つちにんぎょう 幻の土人形 三原人形2

こんにちは！三原人形の加藤清正じゃ。前回に引き続き、「三原人形」についてくわしく紹介するぞ！



わたし かぶと や え がきひめ
私は兜をもっている八重垣姫よ。この
あいだ あ おお会いしましたね！この兜お気に入りなの。可愛いでしょ〜♪

三原人形は 40種類くらいあって、
はつぜつく いさ せんごくぶしやう あい
初節句には、勇ましい戦国武将や愛らしい
ひめさま がくもん かみさま てんじんなど おく
お姫様、学問の神様の天神等が贈られたわ。



三原人形は、底がないことと、大きいのが
特徴なんじゃ！わしはこう見えても、52
cmの高さで**迫力満点**！では、その**作り方**を見
ていくぞ。



作り方

①粘土

粘土を三原や尾道、四国から取り寄せます。
粘土に水をいれてよくかき混ぜ、不純物を取り
除いた後、一部には細かい砂を混ぜてよくこねて、
板状にのばします。



②型どり

二枚の型の内側に粘土の付着を防ぐための
粉を塗り、指で粘土をまんべんなく側面に
押しつけていきます。



③焼成

乾燥後、前部と背面部を合体させます。その
後かまに入れ、火を松葉などでおこして2時間
くらい焼成します。

火を止めて温度が下がった頃、かまから出します。



④下塗りと色付け

和紙を貼って、人形の底をふさぎます。全体
に胡粉(白い顔料)を何度も塗り、特に顔の部分
は何度も塗ってツヤを出します。
乾燥後、膠と絵の具を混ぜたもので、各部を色づけします。



